



ごあいさつ

令和4年度から「毘沙門台東町内会会長」と「毘沙門台学区社会福祉協議会副会長」に就任致しました、石川義美でございます。

私は東町内会副会長に就任以来13年間務めさせて頂いておりました。その間、社協役員の皆様、他町内会役員の皆様、そして東町内会の皆様方から多くのご指導を頂き、貴重な経験と勉強をさせて頂きました。この経験を活かし微力ではありますが、一意専心努力いたす所存でございます。

社協副会長として「第二次福祉のまちづくりプラン」の推進責任者という大きな役割を仰せ付けられました。第二次福祉のまちづくりプランは、ご承知のとおり5か年計画で実施されている事業で、すでに3年が経過して後半を迎えております。住民の皆様を始め各関係団体の皆様と連携を更に強くし、町民皆様のニーズや優先事項の高い施策の実現に向けSDGsにも添い積極的に取り組んでまいりますので、皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。

毘沙門台団地は、地域で人気の高い団地といわれております。以前より毘沙門台団地をより綺麗に、そしてより美しい団地にするように心掛けて活動しておりました。その活動の一つに、先輩役員の皆様方と一緒に取り組み、「団地入口の花壇」と「バス停中停留所の花壇」この両大型花壇を作ることができ、現在では両花壇を団地内の皆様にお世話をして頂き、お蔭様で季節ごとに綺麗な花が咲き、団地の美しい場所のポイントにもなっています。花壇管理に協力いただいています住民の皆様には、心から感謝を申し上げます。

また当団地内遊休地及び道路法面の一部を花壇にさせていただいています。ご家庭でも玄関先に花を咲かせていただくお家が大変多く「美しい環境」が常に向上されており、今後ますます花の多い綺麗な団地になることが期待されています。

東町内会に於いては、1995年4月16日に東町内会が設立され、3年後の2025年には創立30周年を迎えます。その歴史を作る年を迎えることを念頭において、東町内会活動指針にあります三つの項目を基本として活動させていただきます。

活動指針は東町内会の皆様には機会あるごとにご紹介させていただいております、三つの項目は

- 1 向こう三軒両隣のお付き合い
- 2 子ども達のふる里づくり
- 3 住んで良かったと思える町づくり

(東町内会活動指針は 集会所=フラワーホール が竣工した2014年11月に策定されております)

この活動指針を今までどおり皆様と一緒に継続して取り組み、更に安心して住める町に

なるよう明るく元気で爽やかに活動させて頂きたいと思えます。

団地住民の皆様には、今まで同様のご理解とご協力を頂きますよう、宜しく願い申し上げます。

毘沙門台学区社会福祉協議会 副会長 石川 義美
(毘沙門台東町内会 会長)

我が町の自慢

11月12日～11月15日に開催される第34回全国健康福祉祭 神奈川・横浜・川崎・相模大会に参加する広島市選手団の候補者を選考するための広島市の決勝大会が、4月6日(水)に広島市総合福祉センター開催され、囲碁大会の部で準優勝し出場することが決定しました。

この大会は通称「ねんりんピックかながわ2022」と称され、厚生労働省の主催でスポーツ庁の共催で約1万人の60歳以上の選手・役員が集い常陸宮様も開会式でお言葉をいただく大きな大会です。

決勝大会は、広島市の6区から出場し、高段者が揃うC組(ハンデイキャップ無)に出場し、4局をスイス方式で順位を決定し惜しくも準優勝となりました。

優勝者は、同じ安佐南区の出身の方でした。1つの区で優勝、準優勝を独占するのは初めてのことです。体調を整え「ねんりんピックかながわ2022」では楽しく競技してきますので、よろしくお願いいたします。

(毘沙門台東町内会 竹久 元彬)



左:筆者 中:高橋会長 右:優勝の高橋さん



びしゃもんだい絆くらぶ(協同労働)の近況

コロナ禍により2年間閉鎖されていた各種サロンが、本年4月から開始されました。サロンにお越しの方から「庭木の簡易伐採」、「障子の張替え」、「網戸の張替え」および「付添送迎サービス」等の生活でお困りのご相談・ご要望が急激に増加しています。

庭木が大きくなって整備してほしいとの要望が多く寄せられていますので、この度「高枝バリカン」(高さ3mまで伐採可能)を購入し、高所の枝木伐採ができるように準備し、皆様のご要望にお応えすることとしました。

また、本年度にはボランティア活動に、「社協・びしゃもん台絆くらぶ」で10名弱の方々に参加いただくことになり、充実してきました。

今後とも、町民の皆さま方のご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。